

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進		評価方式	実績	番号	32
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	172,952,145	160,494,295	161,528,968 ほか復興庁一括計上分0	146,325,740 ほか復興庁一括計上分0	169,975,224 ほか復興庁一括計上分 0	
		<0>	<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>	
	補正予算（千円）	5,342,300	11,332,328	7,480,067 ほか復興庁一括計上分 0	0	/	
		<0>	<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>	<0>		
	繰越し等（千円）	△ 418,117	△ 2,807,144	△ 2,730,244 ほか復興庁一括計上分 0			
	<0>	<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>				
	計（千円）	177,876,328	169,019,479	166,278,791 ほか復興庁一括計上分 0		/	
		<0>	<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>			
執行額（千円）		177,864,277	168,833,661	166,012,969 ほか復興庁一括計上分0		/	
		<0>	<0>	<0> ほか復興庁一括計上分<0>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>【評価結果を踏まえた施策への反映方針】 （達成目標1） 平成24年度は、準天頂衛星の衛星技術基盤の確立、超高速インターネット衛星「きずな」を用いた国や地方自治体等との連携による実証実験、宇宙利用促進調整委託費による人材育成等の取組を実施した。今後は、ユーザと連携して防災分野を中心とした利用技術の実証実験等を行うとともに、超高速インターネット衛星（WINDS）については民間と連携して新たな利用を開拓することにより、将来の利用ニーズの把握に努める必要がある。また、宇宙利用促進調整委託費による内局事業により大学や研究機関における人材育成等の取組を実施し、宇宙開発利用の裾野拡大のための取組を行う必要がある。特に平成26年度については、防災・減災に資するために開発すべき衛星技術を明らかにするため、技術試験衛星Ⅷ型（ETS-Ⅷ）や超高速インターネット衛星（WINDS）を用いて技術課題の検証を行う。また、委託費による内局事業については、これまでの方向性を引き継ぎつつ、様々な分野において、宇宙航空科学技術の新たな利用方法を開発し、将来の国民社会へ活用し得る技術への到達、国内外の様々な宇宙航空開発利用の場において今後活躍が期待される宇宙航空人材の育成等を主眼として取り組む。なお、行政レビューシートにおいて指摘を受けた不用については、内閣府設置法等の一部改正（平成24年7月12日施行）による文部科学省の所掌変更に伴う平成24年度公募に係る募集要項の見直しや予算執行の抑制等による事業実施期間の短縮が主要因と考えられ、当要因は毎年度発生するものでなく、その影響は平成25年度以降に波及するものではない。</p> <p>（達成目標2） 広義の安全保障を含めた宇宙利用の拡大及び我が国が自律的に宇宙活動を行う能力を維持・発展させ、国際競争力を強化するため、平成25年度におけるH-IIA/Bロケット及びイブシロンロケット試験機の着実な打上げ成功を達成することを目標とする。また、新型基幹ロケット開発への着手、基幹ロケット高度化等の取組を実施。特に、新型基幹ロケット開発については、JAXAが民間企業の総力を結集して技術開発プロジェクト全体の統括を適切に行えるよう、政策的な位置づけを判断するとともに、開発体制や開発費を含めたシステム全体についての在り方の検討及び開発の推進体制の強化が早急に必要なとなる。</p>					

(達成目標3及び4)

人類の知的資産の蓄積、活動領域の拡大等の多くの可能性を秘めた宇宙分野におけるフロンティアの開拓や、宇宙先進国として我が国の宇宙開発利用を維持発展させるため、国際協働の枠組みの中で、国家戦略として実施する意義等について、外交・安全保障、産業競争力の強化、科学技術水準等の向上等の様々な観点から検討し取り組む。特に、平成26年度は小惑星探査機「はやぶさ2」やX線天文衛星「ASTRO-H」等の開発、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」の運用・研究等を実施する。

(達成目標5～7)

平成25年1月に新たに決定された宇宙基本計画に基づき、「安全保障・防災」「産業振興」「宇宙科学等のフロンティア」等を支える技術基盤の強化、人材育成等に取り組むことにより、宇宙開発利用を促進する。

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名		宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進				番号	32		(千円)
		予 算 科 目				予 算 額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	25年度当初予算額	26年度概算要求額			
対応表において●となっているもの	●	1	一般	文部科学本省	研究開発推進費	宇宙・航空分野の研究開発の推進に必要な経費	34,382,545	33,881,163	-691,314
	●	2							
	●	3							
	●	4							
	小計						34,382,545 の内数	33,881,163 の内数	-691,314
対応表において◆となっているもの	◆	1	一般	文部科学本省	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金に必要な経費	109,768,846	132,654,959	
	◆	2	一般	文部科学本省	独立行政法人宇宙航空研究開発機構施設整備費	独立行政法人宇宙航空研究開発機構施設整備に必要な経費	2,174,349	3,439,102	
	◆	3							
	◆	4							
	小計						111,943,195 の内数	136,094,061 の内数	
対応表において○となっているもの	○	1					<	>	<
	○	2					<	>	<
	○	3					<	>	<
	○	4					<	>	<
	小計						の内数	の内数	
対応表において◇となっているもの	◇	1					<	>	<
	◇	2					<	>	<
	◇	3					<	>	<
	◇	4					<	>	<
	小計						の内数	の内数	
合計						146,325,740 の内数	169,975,224 の内数	-691,314	

